

市民参画

本計画の策定にあたっては、清瀬市長期総合計画策定審議会のほか、市民懇談会や市民アンケート、パブリックコメント等の市民参加の機会を通じて、市に関わる数多くの方々からさまざまなご意見をいただきました(以下は一部抜粋したものです)。

◆「10年後の理想の清瀬」模造紙展示

令和7年7月～8月に、10年後の理想の清瀬市について、そのために必要な取り組みなどについてのアンケートを電子フォーム及び市役所本庁舎に掲示した模造紙にて意見を募集しました。



◆清瀬市長期総合計画策定審議会

令和6年12月に設置された清瀬市長期総合計画策定審議会には、公募により選出された市民や学識経験者、地域関係者など、25人の委員が参加し、令和7年10月までの約10か月間、全8回にわたり、「これからの10年間における清瀬市の方向性」について審議と議論を重ねました。



東京都立大学 大学教育センタープレミアム・カレッジ 特任教授・名誉教授 和田会長(右)と澁谷市長

◆市民ワークショップ

令和7年7月に、「清瀬市の10年後の理想の姿」をテーマにワークショップを開催しました。当日は、市内から公募で集まった12人の市民の皆さまにご参加いただきました。

ワークショップでは、将来像ごとに、過去から現在の清瀬市の状況を振り返りながら、理想の未来の清瀬市について、各グループに分かれて活発に話し合っていました。



◆保育園児・幼稚園児アンケート

令和7年8月に、未就学児の意見を集めるため、清瀬ゆりかご幼稚園の年長クラスと清瀬市立第1保育園の5歳児クラスの子どもたちに自分の意見だと思ふ選択肢にシールを貼るシールアンケートを行いました。

市全体について意見を聞くための「このまち(清瀬市)で好きなところは？」という質問のほか、子育て環境の理解や今後の施策の参考のために、「どこにいるときがたのしい？」や「だれといるときがたのしい？」という質問に答えていただきました。



◆中学生インタビュー

令和7年9月に、市として目指す10年後の姿について、中学生の意見を集めるため、市立中学校5校の生徒会メンバーを対象に、対面によるインタビューを行いました。

10年後の理想の清瀬市について、話していただきました。



◆外国人市民等インタビュー ◆障害者団体アンケート・インタビュー

令和7年8月～9月に、外国人の市民等の意見を集めるため、清瀬国際交流会の皆さまにインタビューを行いました。また、令和7年9月には、障害のある市民の意見を集めるため、市内6か所の障害者施設でのアンケートを行うとともに、清瀬視覚障害者グループあかりの方にもインタビューを行いました。

「清瀬市で好きなところはどこですか？」という質問のほか、「生活で困ったことや不便なことはありますか？」や「どのようなまちになってほしいですか？」という質問に答えていただきました。



たくさんのご意見ありがとうございました